



ミュージアム学生スタッフのしごと 2F ナビスタッフ編

立命館大学国際平和ミュージアムは大学立の平和博物館

「みて・かんじて・かんがえて・その一步をふみだす」ミュージアムです

2F 展示室では「平和をもとめて」をテーマに、学生ナビスタッフが来館者に対して、暴力と平和について考え、行動するためのきっかけとなるよう展示解説をおこなっています。

* B1F 展示室では「一五年戦争」と「現代の紛争」について展示しています。

* 1F メディア資料室では戦争・平和に関する書籍や資料を閲覧できます。

平和をつくりだす人になる

2F 展示室ではさいころくんを使い、世界のさまざまな問題について紹介しています。児童労働、子ども兵士、識字率、乳幼児死亡率など子どもに関するテーマや、夜のあかり、アルミ缶と電力といったエネルギーに関するテーマをはじめ、食糧問題、環境問題などさまざまなテーマを紹介し、平和とは何か？平和を実現するために自分が何かできること・はじめられることは何か？を来館者が考えるきっかけになるようなナビをおこなっています。

※さいころくんは立命館附属校の先生方に協力いただき開発された教材です。



来館者は小学生から高齢の方まで幅広く、対象に応じて解説内容も変えなくてはなりません。日頃からさまざまな問題に関心を持ち、ものごとを多角的に見る目を養うとともにプレゼンテーション能力を磨いていきます。



「平和」や「世界」について学び続けたい

「来館した児童や生徒が、ミュージアムで平和について学び、来て良かったと思って貰いたい、そして、今後も平和について考え続けて欲しいという思いでナビを作りました。皆さんも目標をもってナビに取り組んでみてください。また、他の学生スタッフと積極的に交流して、様々な知識や考えを共有してみてください。大学生活がより充実したものになると思います」

(産業社会学部卒 齋藤怜さん)

ここがおすすめ！

時事問題に詳しくなります

「ここで働くことのメリットは沢山ありますが、新聞の読み比べができるバイトなんてどこを探してもないと思いますので、一番にこれをあげたいです。おかげさまで時事には詳しくなりましたし、各新聞社の特色もよく見えるようになりました」

(国際関係学部 4 回生 田中志穂さん)



いろいろな学部の人と出会えます

「国際平和ミュージアムでは多様な学部、学年の人が学生スタッフとして活躍しています。そのためサークルや学部での友人、先輩とはまた違った新しいつながりを持つことができます。また意識を高く持って活動している人も多く刺激になります」

(法学部 3 回生 桑野真実さん)



プレゼンテーション力が身につきます

「2F ナビの学生スタッフの仕事では、来館者の方に伝えたいことを的確に伝えるためにはどうしたらよいか、またどうしたら理解してもらえるかを考えながら自分でナビを作ります！プレゼンテーションのスキルもアップし、色々な場面で活かすことができます」(法学部 2 回生 下村はず希さん)



京都の戦跡めぐりをしました

「学生スタッフをすることは、私にとって自分の学びを深めることでもありました。大学にいながら来館者の様々な世代と交流することもできました。他の学部の友人もでき、京都の平和マップを実際にフィールドワークすることで他の学生スタッフとの関係もだいぶ近づけることができましたしナビできる範囲も広がりました」

(国際関係学部卒 里井明さん)



学生企画による NGO ワークショップを開催
2F 展示室で紹介している 12 の NGO 団体の中から、
毎年 2 回講師を招き、世界の諸問題について考える
ワークショップをひらいています。エネルギー問題、
難民問題、人権問題、戦争ビジネス etc、企画メンバー
になった学生たちは関心のあるテーマを選び、企画か
ら広報、運営までおこないます。



舞妓さんが来た！



総長も来た！



茨木市非核平和展でのナビ



平和バッジ企画も大好評

学生ミュージアムスタッフに関するお問い合わせ：
国際平和ミュージアムオフィス TEL: 075-465-8151 *月曜休館